

2025年度 公益社団法人静岡県栄養士会定時総会 議案

日 時 2025年6月7日(土)
10時40分～16時10分
会 場 静岡県男女共同参画センター
あざれあ 6F 大ホール
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

総 会 次 第

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 表 彰 会長表彰
受賞者謝辞
4. 来 賓 挨 拶
5. 講 演
「静岡県の健康づくり施策」(仮)
講師：静岡県健康福祉部健康局 健康増進課
課長 川田 敦子 氏
6. 特別講演
「石川県栄養士会の経験から学ぶ～地域・施設で栄養士ができる
平時からの備え～令和6年能登半島災害を踏まえて」
講演：国立大学法人 金沢大学附属病院 栄養管理部栄養管理室長
公益社団法人 石川県栄養士会 理事 徳丸 季聡 氏
座長：公益社団法人 静岡県栄養士会 静栄 DAT 部長 中村 朱美
7. 議長選出
8. 議事録署名人選出
9. 書記指名
10. 総会成立宣言
11. 議 事
 - (1) 第1号議案 2024年度事業報告承認の件
 - (2) 第2号議案 2024年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)
及び財産目録承認の件
 - (3) 報告事項 ①2025年度事業執行計画について
・2025年度事業計画の件
・2025年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件
②表彰規程の変更について
 - (4) その他
12. 閉 会

会員各位

初夏の風が心地よく流れ、山や森の緑がみずみずしく感じられる季節となり、静岡県栄養士の定時総会が開催される時期となりました。平素より正会員ならびに賛助会員の皆様には、当会事業に対して、ご理解と多大なご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

国民の5人に1人が後期高齢者（75歳以上）となった超高齢社会を迎え、雇用といった日本経済や社会の広い領域に深刻な影響を及ぼすと言われた2025年にいよいよ突入しました。厚生労働省をはじめとしたいくつかの調査によると、「医療・福祉」、「建設業」、「運輸業・郵便業」などが深刻な人材不足と言われています。医療・福祉分野における医師や看護職の人材不足に注目を集めていますが、給食分野も同様であり、食べることを支える人材が不足し、また栄養管理を必要とする方に対して、適切な栄養の指導を行う人材も不足すると、栄養問題を有する方が爆発的に増えてきます。「食」を大切にしてきたこと、それに携わってきた管理栄養士、栄養士が存在したことが、わが国の健康長寿国としての礎を築いてきた（一部かもしれませんが）と自負しています。会員の皆様に感謝申し上げます。

一方、ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナといった国際情勢は混沌を深め、さらに、米国トランプ大統領の関税対策が輪をかけて食糧不足や物価高騰の煽りを受けています。スーパーでは、食用油をはじめ4,000品目の食材が値上がりをしました。また、今年の春から比べ、倍近くまで高騰した米に対して、国は備蓄米を放出しましたが、残念ながら価格は下がらず、安定的な供給に至っていません。食材の高騰は貧富の格差、すなわち健康の格差を生み、誰一人取り残さない日本の栄養政策にも影響をおよぼすことに繋がります。このような社会情勢に立ち向かうためにも、管理栄養士、栄養士の叡智を集結し、健康を支える食支援、政策に繋げられる提言をしなければならぬと感じます。一人では為せないことでも、同じ気持ちを持つ同志とともに、この難局を乗り越えていきたいものです。

再度、人材不足について。厚生労働省が昨秋公表した調査（令和3年3月に卒業した新規学卒就職者を対象）によると、新規大学卒就職者が34.9%（同2.6ポイント上昇）となっており、今年もすでに辞めた人がいるそうです。かつては、職場環境への不満が主であったそうですが、現在は、自分が何者にもなれないという不安に思う方が増えているそうです。今日、明日の暮らしにとどまらず、将来に対する不安も大きくなりつつある現代社会。すてきな未来を創るためにも、心と身体が満たされる環境づくりと、その礎（人）を創るための食（栄養）の重要性を広く普及する専門職として、会員同士で協力し、事業展開していきたいと思えます。

さて、公益法人総会での決議には会員の皆様のお力添えが必要となります。同封のハガキにて、第1号議案 2024年度事業報告承認の件、第2号議案 2024年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件のいずれも、書面をご確認の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

結びに、正会員の皆様のご健勝とご多幸を、そして賛助会員の皆様には貴社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

2025年5月 吉日

公益社団法人 静岡県栄養士会
会長 新井 英一

第1号議案

2024年度事業報告

1 公益事業

I 公1 科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業

(1) 健康栄養知識普及事業

“第4次静岡県食育推進計画”に基づき、県下、各地域で開催される健康まつり等の健康づくり関係事業に参画し、望ましい食生活に関する栄養知識の普及や、情報提供等を行い、「食を通して人をはぐくむ」県民運動の推進に寄与する。

開催日	主催者(依頼者)	名称	担当栄養士	参加人数	啓発人数	
6月1日	清水町役場 健康づくり課	清水町食育フェスタ	大場洋子	253	27	
6月23日	沼津市 長寿福祉課	しもかぬきマーケット	白石明子・眞島みき子	150	75	
6月27日	伊豆市役所 子育て支援課	こどもと保護者への食育教室	木内早苗	26	26	
9月14日	小山町役場 健康増進課	健康フェスタ	小田恵子・岩田奈緒美	1,000	200	
10月6日	富士市 地域保健課	伝法わくわくフェスタ	小川知子・佐野文美	3,500	715	
10月12日	伊豆市 健康福祉部	健康福祉大会	木内早苗	1,500	103	
10月27日	東伊豆町役場 健康づくり課	奈良本ヘルシーウォーク	杉本尚子	43	43	
11月4日	伊豆市役所 子育て支援課	子育て支援事業～遊んで学ぶ食育出張講座～	木内早苗	40	40	
11月10日	三島市 健康づくり課	市民すこやかふれあいまつり	神尾房子・國武淑子	250	30	
計			9	13	6,762	1,259

(2) 健康づくり啓発協力事業

開催日	名称・会場	内容	担当栄養士
10月26・27日	メディメッセージ 2024 ツインメッセ静岡 (静岡市)	食事バランスチェックコーナーの運営 ・「食事バランスチェックシート」を使って栄養バランスをチェックした。 参加者が選んできた「食べたいもの」、「いつも食べているもの」の食材カードについて、栄養バランスに関するアドバイスをしたのち、病気になるからだをつくることのできる栄養バランスを考えたメニューを持ってきてもらった。	大塚美和子・小栗美樹子 八木佳子・菊池しおり 太田紘之・鈴木愛実 田森稔浩・西谷江梨子 鈴木恭子・高木圭子 原田理紀愛・櫻井健

(3) 在宅介護者食生活支援研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
1月19日	第三地区センター (沼津市)	1 「食べられる食環境 食べやすさ体験」 2 「在宅の食にまつわる課題と食支援サービス」 3 「しっかり食べるためのお口の維持」 4 試食・座談会	静岡県栄養士会 田森稔浩 氏 かぬき地域包括支援センター主任介護支援専門員 片岡紀子 氏 静岡県歯科医師会 村松美枝子 氏	31

(4) 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成研修事業業務【静岡県健康増進課委託事業】

令和元年5月「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」の改正が行われ、これまで医療保険と介護保険の連携が取れず、高齢者への保健事業の取り組みが薄かった部分を改善するため、令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の制度が施行されることとなった。

静岡県では、令和2年度から令和4年度の3年間にわたり市町事業(個別的支援及び通いの場への関与等)に協力可能な医療専門職を養成することとなった。そのうち管理栄養士・栄養士については、昨年に引き続き指導者育成研修等を行い、さらに市町事業に協力可能な専門職の名簿を作成した。

①管理栄養士向け介護予防推進指導者育成研修の実施

- ・市町が実施する介護予防事業において、高齢者の自立支援に向けた指導助言ができる管理栄養士の指導者を育成した。
- ・研修会受講後、地域ケア会議に出席可能・個別支援に対応できる管理栄養士(申込時同意した者のみ)の名簿を市町ごとに作成した。

受講者数：管理栄養士・栄養士 94名、その他の行政職 2名、地域包括支援センター職員8名、その他 3名

- ・事前研修として、令和4年度管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修動画をWEBにて視聴し、未修了の管理栄養士はレポート、同意書を提出して修了した。

介護予防推進指導者育成研修修了者：27名

実施日	会場	内容	講師	参加人数
9月20日	浜松市勤労会館 Uホール (浜松市)	講義 ・高齢者の特性を踏まえた介護予防、管理栄養士に求められる役割 事例紹介、グループワーク ・通いの場における介護予防事業の取組(第2報) 管理栄養士の高齢者の個別的支援に向けて 講評	愛知淑徳大学 食健康科学部 健康栄養学科 教授 榎 裕美 先生 管理栄養士 上田 規江 氏	33
10月26日	静岡県男女共同参画 センターあざれあ (静岡市)	講義 ・認定栄養ケアステーションにおける 高齢者の保健事業と介護予防事業 事例紹介、グループワーク ・駒沢女子大学 健康栄養相談室 ご紹介します！ ・訪問型サービスC 事例紹介 講評	駒澤女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 教授 工藤 美香 先生 駒沢女子大学 健康栄養相談室 藤田 里栄子 氏	29
1月11日	プラサヴェルデ (沼津市)			45

②管理栄養士が市町等の通いの場で活動する取組の支援

管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修修了者を対象に、市町等が実施する介護予防事業に協力可能な静岡県栄養士会会員の管理栄養士・栄養士の名簿を作成。

各市町等からの依頼を受け、東部・中部・西部の各栄養ケア・ステーションにて、管理栄養士を紹介する仕組みを運用して紹介した。(開催31回)

- ・通いの場支援のためにリーフレットを作成した。
- ・管理栄養士の通いの場で活動する取組支援のためのホームページを修正した。

開催日	市町	内容	講師	参加人数
5月21日	沼津市 愛鷹地区センター	フレイル予防講座	杉山清子	24
6月11日	沼津市 愛鷹地区センター	フレイル予防講座	杉山清子	21
6月14日	沼津市 千本プラザ	フレイル予防講座	池谷広美	19
7月14日	沼津市 松実会	フレイルの予防を意識した高齢者の食生活のポイントについて	鈴木純子	15
7月24日	沼津市 西浦地区センター	フレイル予防講座	池谷広美	15
9月11日	沼津市 第三地区センター	フレイルの予防を意識した高齢者の食生活のポイントについて	海野優子	32
10月17日	沼津市 大岡団地公会堂	高齢者の食生活と栄養について	鈴木純子	23
11月11日	沼津市 一本松公会堂	無理せず笑顔で楽しく体操を続けるための栄養講座	杉山清子	17
12月15日	沼津市 第三地区センター	オーラルフレイルを含む栄養講座	杉山清子	10
2月13日	沼津市 千本プラザ	高齢者の食生活のポイント 低栄養予防について	鈴木純子	42
2月13日	沼津市 千本プラザ	高齢者の食生活のポイント 低栄養予防について	鈴木純子	62

開催日	市町	内 容	講師	参加人数
10月24日	函南町 保健福祉センター	高齢者の低栄養予防について「上手な栄養の摂り方」	畔上 泉	12
1月30日	函南町 保健福祉センター	高齢者の低栄養予防について「上手な栄養の摂り方」	畔上 泉	11
9月5日	富士市 新浜公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	木村綾恵	10
9月9日	富士市 浦町公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	倉田衣津子	11
9月9日	富士市 鈴川5丁目公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	鈴木初音	17
9月12日	富士市 八王子2丁目公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	鈴木初音	10
10月1日	富士市 青島公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	若林恭子	13
10月3日	富士市 中野台公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	倉田衣津子	20
10月3日	富士市 広見3丁目公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	鈴木初音	9
10月7日	富士市 中丸丘公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	木村綾恵	10
11月5日	富士市 三四軒屋公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	木村綾恵	15
11月6日	富士市 片倉町公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	榛葉有希	12
11月8日	富士市 中野1丁目公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	倉田衣津子	8
11月8日	富士市 富士松野会館	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	鈴木初音	5
11月8日	富士市 富士松野会館	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	鈴木初音	8
12月10日	富士市 神戸2丁目公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	倉田衣津子	8
12月11日	富士市 宮下公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	榛葉有希	14
12月25日	富士市 新町本町公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	鈴木初音	10
1月8日	富士市 木島公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	木村綾恵	9
1月14日	富士市 千鳥町公会堂	低栄養・フレイル予防を意識した食生活について	若林恭子	13
開催31回	合計参加者数			505

(5) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】

- ・食品表示法施行に伴い、新しい食品表示制度により栄養成分表示が義務化されたため、加工食品業者に対して、不適正表示を未然に防止するための講習会を県内3カ所で開催した。
- ・一般県民に向けては、普及啓発用リーフレットを10,000部作成した。
- ・2019年度から原料原産地表示制度に関する講習会を加えて開催、県の依頼で講師は栄養士会が担当した。
- ・食品表示制度講習会へ参加の食品加工業者には資料を配布した。

開催日	会 場	内 容	講師等	参加人数
8月2日	静岡県男女共同参画 センターあざれあ (静岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養成分表示の表示方法について ・直近の法令改正や原料原産地表示等 食品表示の基礎 ・日替わりテーマ 保健機能食品の概要 栄養成分表示に関する直近の動向 	【講師】 静岡県栄養士会 川上 栄子 氏 消費者庁食品表示課 栄養成分表示係長 日吉 統子 氏 【助手及び受付事務】 山崎靖晃、池谷広美	会場 29 WEB 97
10月2日	プラサヴェルデ (沼津市)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養成分表示の表示方法について ・直近の法令改正や原料原産地表示等 食品表示の基礎 ・日替わりテーマ 添加物の表示 不使用表示、アレルギー等 	【講師】 静岡県栄養士会 川上 栄子 氏 消費者庁食品表示課 野中 紀鷹 氏 【助手及び受付事務】 山崎靖晃、池谷広美	会場 38 WEB 108

開催日	会 場	内 容	講師等	参加人数
令和7年 1月10日	ワークピア磐田 (磐田市)	・栄養成分表示の表示方法について ・食品表示に関する最近の動向について ・日替わりテーマ ジャム・漬物・菓子・弁当等の表示、 ふるさと納税	【講師】 静岡県栄養士会 川上 栄子 氏 消費者庁食品表示課 食品表示調査官 東島昌太郎 氏 【助手及び受付事務】 山崎靖晃、池谷広美	会場 18 WEB 70

(6) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

市民に向けて地場産の食材の紹介や意義について周知し、理解を深めることとする。

①「親子地産地消ツアー」

小学生児童親子を対象に、地場産の食材を通じて食を科学し、自分自身でより良い食生活について考え、実践できるようにするため、JAふじ伊豆ファーマーズマーケット『う宮～な』を活用し、地産地消の意義と野菜の大切さを知り、正しい食生活について学ぶこととする。

『う宮～な』の地場産の新鮮な野菜を持ち帰り、実際に自宅で料理して食べることで地場産の野菜等について興味や理解を深めていくことを目的とする。

実施日	会 場	内 容	担当者等	参加人数
7月31日	JAふじ伊豆 ファーマーズマーケット う宮～な	地産地消の講話と食材のお話し (管理栄養士) 地場産の夏野菜を使ったレシピ5品の紹介および デモンストレーション 2品(管理栄養士)	【講師】長谷川裕恵 氏 【担当】若林恭子、望月綾子、 田山恵子、芦澤裕子、 鷹島陽子、小野久実	親子6組 14名
8月1日	JAふじ伊豆 ファーマーズマーケット う宮～な	地場産の食材の説明(JAふじ伊豆) ・身近な富士宮でとれる野菜とは ・夏野菜の選び方	【講師】長谷川裕恵 氏 【担当】若林恭子、望月綾子、 田山恵子、芦澤裕子、 鷹島陽子、小野久実	親子5組 14名

②「スイーツで楽しむ地産地消講座」

地場産の食材の中から特に食材(牛乳)(県内生産額1位)と卵(産出額全国区1位)を生かしたスイーツにスポットを当て、栄養的な知識と理解を深めることを目的に講座を実施した。

実施日	会 場	内 容	講師等	参加人数
10月23日	富士宮市総合福祉会館	①地産地消の取り組み 富士宮の特産品 「ふじのくに富士山ミルク」について ②「食文化での食材の活用と特産品の栄養」 ③地場産を活用した簡単スイーツ (プリン)のレシピ紹介と試食1品	【講師】 富士の国乳業(株) 代表取締役 佐々木剛 氏 静岡英和学院大学短期大学部 食物栄養学科 小川 ももこ 氏 【担当】若林恭子、田山恵子 鷹島陽子、中野英美、 小野久実	20

(7) 飲食店向け「健康な食事」推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

「健康な食事」とはどのような食事か、飲食店等での取組みの必要について説明を行う。また、健全経営の取組、「健康な食事」の冊子の活用方法の紹介を通じ、飲食店等で「健康な食事」を意識したメニューの提供を提案する。野菜の積極的な使用、減塩を取り入れたメニュー作りの取組み紹介により、今後の実践に活用できるための講習会を実施する。

開催日	会 場	内 容	講師等	参加人数
9月13日	掛川商工会議所 (掛川市)	①講話 「「健康な食事」について考える ～スポーツ栄養士の活動を踏まえて～」 ②事例紹介 「ホテル旅館における「健康な食事」 取り組み事例について」	【講師】 ①栄養工房 Ciao NPO法人 JUNSHIN SPORTS CLUB 管理栄養士 公認スポーツ栄養士 青島千恵 氏 ②株式会社竹屋旅館 取締役総料理長 青木一敏 氏	13
1月22日	呉竹荘 (浜松市)		【助手及び受付事務】 白石明子、池谷広美、 柳田美智子	39

(8) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

静岡県教育委員会と連携し、県内の高等学校の生徒を対象に、健康の保持・増進と生活習慣病予防のため、「『健康な食事』について考える冊子」を活用し、健康づくりに繋がるような講和と調理実習を行う。また、一般県民を対象とした栄養相談等において「『健康な食事』について考える冊子」を活用し、県民の健康増進を啓発する。

開催日	会場	内容	講師等	参加人数
7月6日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	「高校生対象「健康な食事」について考える講座」講師養成研修会 基調講演 「健康な食事」を高校生に伝えよう —高校生が実践につなげるために— 事業内容説明 報告書、講座資料の説明 等	常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 教授 野末みほ 氏 フリーランス・栄養関連企業等 事業部理事	27

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加人数	
9月11日	県立田方農業高等学校	高校生を対象とした講習会 ①健康な食事について考える ②主食・主菜・副菜をそろえた調理実習	榛葉有希、渡邊皇代、石井由紀	20	
12月13日	県立熱海高等学校		神谷早月、白石明子、石井由紀	12	
10月2日	県立藤枝北高等学校		酒井英彰、小林美佐枝、青島千恵	14	
10月2日			酒井英彰、白石明子、小林美佐枝	13	
11月1日	県立清流館高等学校		中野美玲、小林美佐枝、青島千恵	20	
12月20日	県立静岡商業高等学校		好川紗帆、神戸千恵子、石垣範子	13	
10月2日	県立浜松湖北高等学校		岩崎優子、柳田美智子、村本寛奈	28	
11月12日	県立磐田農業高等学校		加藤昌代、山田順子、佐々木久美子	19	
11月13日			村本寛奈、佐々木久美子、山崎 靖晃	18	
11月21日	県立浜松湖東高等学校		澤田幹代、柳田美智子	8	
6~2月	県立高等学校講座 ・市町イベント、 研修会等		「健康な食事」を考える管理栄養士・栄養士が すすめる料理の冊子を高校の講座に活用し、 その他、会員の協力を得て一般消費者への普及 にも努めた。	配布会場51箇所	配付数 1,557冊

(9) 食べるから繋がる地域包括ケア推進業務【静岡県健康増進課委託事業】

在宅で暮らす高齢者の低栄養を予防・改善する環境づくりを進めるため、在宅高齢者の介護に関わる専門職（医療関係者、介護関係者、行政等）がそれぞれの役割を認識し、連携して対応できる体制づくりを行うことを目的に会議及び担当者連絡会を開催する。

併せて、県主催の研修会、関係団体に栄養ケア・ステーションの活動内容や利用方法等について周知啓発を行う。

①連絡調整会議の開催

介護・看護・栄養に関わる専門職が連携し、在宅高齢者の食に関する課題に対応できる体制づくりを目指し、関係団体の情報交換及び連絡調整を行う。

- ・開催日 2月6日（木）14:00~16:00
- ・開催場所 静岡県男女共同参画センターあざれあ

【出席団体】

医師会、歯科医師会、薬剤師会、歯科衛生士会、看護協会、訪問看護ステーション協議会、介護支援専門員協会、理学療法士会、言語聴覚士会、ホームヘルパー連絡協議会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、行政 等

【検討内容】

- (1) 報告事項
 - ・事業取り組み経過
 - ・令和6年度の事業報告「リーフレットの配布状況と周知について」
- (2) 協議事項
 - 「医療と介護関係者と栄養ケア・ステーションとの連携における課題」
 - ・栄養が関わることの意義
 - ・どのように連携をすればよいと考えるか
 - ・その他

②担当者連絡会の開催

介護・看護・栄養に関わる職能団体の連携に向けて、担当者間で具体的な検討を行う。

- ・開催日 10月4日（金）14:00～16:00
- ・開催場所 静岡県男女共同参画センターあざれあ（ハイブリッド開催）

【出席団体】

医師会、歯科医師会、薬剤師会、歯科衛生士会、看護協会、訪問看護ステーション協議会、介護支援専門員協会、理学療法士会、言語聴覚士会、ホームヘルパー連絡協議会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、行政 等

【検討内容】

- ・栄養ケア・ステーション及びリーフレットの周知について
- ・医療と介護関係者と栄養ケア・ステーションとの連携における課題

③県主催の研修会での講演

県主催の研修会において、栄養ケア・ステーションの活動内容や利用方法等について周知啓発を行う。

開催日	研修名	対象者	内容	啓発人数
8月6日	令和6年度静岡県介護予防ケアマネジメント新任者研修	市町・地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員（介護支援専門員）等	栄養ケア・ステーションについて	290名
9月12日	令和6年度高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施の推進に向けた研修会	市町・地域包括支援センター職員等	栄養ケア・ステーションについて	126名
10月22日	令和6年度高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施情報交換会	市町・地域包括支援センター職員等	栄養ケア・ステーションについて（通いの場支援のための取組み、管理栄養士・栄養士紹介の流れ）	77名
11月20日	令和6年度介護予防事業従事者研修会（WEB用収録）	介護予防事業に関わる市町・地域包括支援センター職員等	栄養ケア・ステーションの活用について（介護予防事業、通いの場支援のための取組紹介）	202名
令和7年2月25日	令和6年度静岡県介護予防ケアマネジメント現任者研修	市町・地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員（介護支援専門員）等	栄養ケア・ステーションの活用について *スライド・リーフレットによる説明	549名

④関係団体への周知啓発

関係団体の職員等が集う会議や研修会等の場に訪問し、栄養ケア・ステーションの活動内容や利用方法等について周知啓発を行う。

開催日	会場(方法)/会議/研修会名	出席者（団体）	内容	啓発人数
8月22日	和合聖隷の里研修センター（ハイブリッド）	地域包括職員、介護支援専門員、児童相談所職員、障害者支援施設等	・在宅療養者の栄養についての講話 ・管理栄養士ができること ・管理栄養士への相談先 他	35名
10月15日	三島市民文化会館小ホール	歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士・栄養士、看護師、社会福祉士、介護支援専門員等（口腔ケアネットワーク三島）	シンポジウムにてパネリストとなり、講演内で管理栄養士として栄養ケア・ステーションの紹介	200名
10月17日	掛川東病院（ハイブリッド）	病院連携室、介護支援専門員、居住系施設スタッフ、訪問看護師、医師等	・在宅高齢者の栄養について ・他職種ができる栄養スクリーニング ・栄養ケア・ステーションの活用	30名
11月17日	掛川徳育保健センター（徳育ホール）	介護支援専門員、歯科衛生士	・今週の患者さん方で感じた、口腔と栄養の関係 ・栄養ケア・ステーションの活用 ・管理栄養士ができること	26名
12月5日	静岡県歯科医師会館 静岡県歯科医師会 地域保健部会	静岡県歯科医師会理事	栄養ケア・ステーションの活用について *スライド、リーフレットによる説明	24名
12月21日	静岡労政会館 静岡県理学療法士会 理事会	理学療法士会理事	栄養ケア・ステーションの活用について *スライド、リーフレットによる説明	42名

開催日	会場(方法)/会議/研修会名	出席者(団体)	内容	啓発人数
令和7年 1月16日	みをつくし文化センター	介護支援専門員、看護師、保健師、社会福祉士、理学療法士、デイスタッフ、ヘルパー、管理栄養士、栄養士(地域包括支援センター細江)	・在宅高齢者の栄養状態 ・栄養ケア・ステーションの活用 ・管理栄養士ができること	52名
令和7年 2月2日	静岡県薬剤師会館 令和6年度第2回在宅訪問推進委員会	静岡県薬剤師会在宅推進委員	栄養ケア・ステーションの活動内容と使用方法について *スライド、リーフレットによる説明	30名
令和7年 3月6日	WEB出席 静岡県ホームヘルパー連絡協議会理事会 (静岡県社会福祉協議会)	静岡県ホームヘルパー連絡協議会役員	栄養ケア・ステーションの活用について *Webにて資料による説明 リーフレットもデータで送付	13名
令和7年 3月12日	一般財団法人恵愛会聖隷富士病院	富士・富士宮圏域 訪問看護ステーション管理者20施設	栄養ケア・ステーションの活用について *スライド、リーフレットによる説明	15名

(10) しずおか健幸惣菜パートナー運営事務局業務【静岡県健康増進課委託事業】

「しずおか健幸惣菜」を積極的に販売・提供する事業者を「しずおか健幸惣菜パートナー」として登録し、登録した事業者の取組を支援・広報することで、提供・販売の拡大につなげ、働き盛り世代の食環境の向上を図る。

<p>1 新規パートナーの登録申込みの募集及び受付</p> <p>(1) パートナーの募集・申込受付 新規 社員食堂部門 1件 登録書作成送付5件</p> <p>(2) パートナー募集チラシの配布 県が作成した募集案内チラシを、関係者へ配布、周知する 9カ所 264枚</p> <p>(3) パートナー登録希望店舗の収集 候補店舗の情報収集 1店舗</p>
<p>2 登録済みパートナーへの支援</p> <p>(1) 発信情報の収集 ・Instagramの募集呼びかけ 2回 ・Instagram 投稿原稿とりまとめ 23回</p> <p>(2) PRグッズ、資料の提供 ・PRグッズ送付 6店舗 ・発信資材 2種類 162店舗</p> <p>(3) パートナー店舗の要望確認情報送付 ・要望・問い合わせ・確認 13回 ・情報送付 Instagram働きかけ2回</p> <p>(4) しずおか健幸惣菜パートナーの活動状況調査 調査項目：しずおか健幸惣菜の提供状況、継続の意思確認、提供の工夫点や課題、利用者の声等 調査対象：調査時点で登録のあるパートナー（令和6年度10月現在159店舗）</p> <p>(5) パートナー周知チラシの配布 県が作成した周知案内チラシを、関係者へ配布、周知する 12カ所 555枚</p>

(11) 栄養ケア・ステーション推進事業

登録者数	管理栄養士 133名 ・ 栄養士 8名	計 141名
------	---------------------	--------

①栄養ケア・ステーション交流会

開催日：11月10日 静岡県男女共同参画センター あざれあ 参加者：38名 内 容：在宅訪問栄養食事指導について、在宅訪問栄養食事指導の実際－運営委員発表3名、グループ交流

②認定栄養ケア・ステーション登録数

東部	中部	西部
5カ所 (1カ所)	7カ所 (1カ所)	5カ所 (1カ所)

* () は機能強化型

③栄養ケア・ステーション ワーキンググループ会議

開催日：3月8日 会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ 出席者：会長・副会長・栄養CS部理事・栄養CS支部担当者・認定栄養CS事業所責任者又は従業員・事務局鈴木 内 容：認定栄養CSの役割について、各認定栄養CS事業所の報告、グループワーク（2回）

④静岡市静岡医師会との定例会議

第1回 開催日：7月2日 会 場：静岡市静岡医師会館 出席者：静岡県栄養士会（久保田副会長・森田久美子会員・事務局鈴木） 静岡医師会（佐々木副会長・依藤理事・八木理事・池谷理事・堀田理事・松岡理事・事務局中田氏） 内 容：2023年度の報告、栄養食事指導を栄養CSに依頼する場合（意見交換）、合同研修会について（テーマ・講師等）
第2回 開催日：1月28日 会 場：静岡市静岡医師会館 出席者：静岡県栄養士会（新井会長・久保田副会長・森田久美子会員・事務局鈴木） 静岡医師会（鈴木会長・佐々木副会長・依藤理事・八木理事・池谷理事・堀田理事・松岡理事・事務局中田氏） 内 容：合同研修会の報告について、栄養食事指導のリーフレット作成について、次回合同研修会について
「静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会」 開催日：10月11日 会 場：静岡市静岡医師会館およびWEB 参加者：医師会関係31名（会場17名・WEB14名）、栄養士会会員60名（会場22名・WEB38名） 計91名 内 容：演題「子供のポテンシャルは栄養次第!! ～不登校の子供たちが半年で大学現役合格するまで～」 講師 ひめのともみクリニック 姫野友美 先生

⑤職業紹介事業

求人数（本年度新規）	31 件
求職者数（本年度新規）	13 名
職業紹介者数	4 名
雇用契約成立数	2 件

⑥支部報告

支部名	依頼件数	紹介者数
東部支部	6 件	9 人
中部支部	5 件	8 人
西部支部	26 件	26 人

⑦訪問栄養食事指導運営委員会報告

開催日：7月21日、8月25日、10月20日、1月19日、3月30日 会 場：栄養士会事務所、8/25のみあざれあ会議室 出席者：栄養CS部理事、訪問栄養食事指導運営委員（3名任命）、副会長、事務局 内 容：栄養CSの訪問栄養食事指導受諾に向けた体制整備（2024年度は必要書類の作成）
--

⑦受託事業

業務内容	受託件数	稼動日数	延べ人数	依頼元	内 容 ()内は対象者数
①診療報酬・介護報酬にかかる栄養食事指導	5	10	10	浅井内科医院	外来栄養食事指導2 (41人)
	1	3	3	特定非営利活動法人 けるん就労移行支援事業所	食事提供体制加算のための献立確認 (18人)
	1	4	4	特定非営利活動法人 熱海ふれあい作業所	食事提供体制加算のための献立確認 (35人)
	1	7	7	特定非営利活動法人EPO FARM	食事提供体制加算のための献立確認 (42人)
②訪問型の栄養食事指導	2	3	3	磐田市高齢者支援課	短期集中予防事業 訪問型サービスC (2人)
	1	1	1	高齢者夫婦	自費による訪問栄養食事指導 (1人)
	1	0	0	富士市福祉部高齢者支援課	介護予防・生活支援サービス (訪問型サービスC) (0人)
③保険診療外の栄養食事指導	2	2	2	ホトニクス・グループ健保	病態栄養食事指導 (個別) (5人)
④栄養・食に関する相談	3	3	6	牛乳普及協会	骨密度測定会後の栄養相談 (506人)
	48	46	92	(株)富士テレネット	パジチェック測定後の栄養相談 (1874人)
⑤特定保健指導	6	40	40	(株)ホームナース	トヨタ販売連合健康保険組合 倉敷紡績健康保険組合 福山通運健康保険組合 面談・電話支援 (46人)
	26	26	36	エヒメ健診協会	協会けんぽ 面談 (306人)
	34	34	36	横浜リーフみなとみらい 健診クリニック	戸田漁業協同組合 御前崎漁業協同組合 堂ヶ島漁業協同組合 協会けんぽ 面談 (216人)
	1	65	65	静岡てんかん・神経医療センター	初回面談・電話支援またはメール支援 (34人)
⑥セミナー・研修会の講師	36	36	36	静岡市こども未来課	あそび・子育ておしゃべりサロン事業 (235人)
	4	4	5	静岡県腎友会	市民公開講座・東・中・西部講習会 (115人)
	1	1	1	菊川市幼児施設連絡会	調理師・栄養士向け講習 (20人)
	1	1	1	静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	災害時バッククッキング (20人)
	1	1	1	湖西保育士会	栄養士・調理師・保育者研修会 (22人)
	1	1	1	牧之原市健康推進課	市職員、包括職員向け研修会 (20人)
	1	4	4	明光会	知的障害者居宅介護職員初任者研修講師 (6人)
	13	13	13	県警共済組合	生活習慣病セミナー (362人)
	1	1	1	静岡県中部健康福祉センター	地域保健福祉関係者研修 (50人)
⑦料理教室・栄養教室の講師	1	2	2	静岡県牛乳普及協会	コンクール書類審査
	1	1	2	社会福祉法人沼津市社会福祉協議会	小学生 福祉の職業体験 (32人)
	1	1	2	社会福祉法人沼津市社会福祉協議会	福祉出前講座 (20人)
	1	1	1	長泉町健康増進課	小学生夏休み食育講座 (14人)
⑧健康・栄養に関するレシピや献立の考案	1	6	6	ホトニクス・グループ健保	ホームページ掲載レシピ作成
	6	65	65	日本盲導犬協会富士ハーネス	施設利用訓練者の食事調理・提供 (17人)
⑨食品・栄養成分表示に関する指導・相談	0	0	0		
⑩スポーツ栄養に関する指導・相談	1	85	85	(株)エスパルス	スポーツ選手の食事サポート
	1	1	1	沼津香陵新体操クラブ	親子で学ぼうスポーツ栄養セミナー (40人)
⑪地域包括ケアシステムにかかる事業関連業務	26	26	26	浜松市高齢者福祉課	浜松市栄養改善普及啓発事業 (444人)
	1	2	2	三島市地域包括ケア推進課	自立支援サポート会議助言者 (2人)
	1	5	5	島田市包括ケア推進課	自立支援型地域ケア会議助言者 (9人)
	5	10	10	静岡市地域包括支援センター	地域ケア会議助言者 (27人)
	1	1	1	富士宮市健康増進課	地域リハビリテーション活動支援事業 (27人)
合計	239	513	577		

(12) 県民フォーラム

健康寿命延伸や生活の質の向上を目指して、県民に向けて広く健康・栄養に関する情報発信を行う。

開催日	会場	内容	講師	参加人数
8月3日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	第1部 スポーツ栄養セミナー 「成長期のアスリートの栄養戦略」	【座長】 河村美樹(公認スポーツ栄養士) 【講師】 勝又瞳(公認スポーツ栄養士)	211名
		第2部 「公認スポーツ栄養士から活躍のヒントをもらおう！」	【講師】 石井浩子、勝俣 瞳、河村美樹、 河原崎裕香、中野ヤスコ、 青島千恵	

(13) 広報事業

開催日	内容（広報部）	回数等	内容（情報管理）	回数等
2024年 4月～ 2025年 3月	広報部会（対面）	1回	受信メール処理件数	14177件
	広報部会（WEB）	1回	送信メール処理件数	7930件
	ホームページ更新	随時	研修会、交流会等のWEB受付数	32件
	メールマガジン配信	18回		1149名
	ホームページアクセス数	2.3万件	メールマガジン登録者数	993名
	栄養士のおすすめメニュー応募・掲載数	8件	Instagram投稿数、フォロワー数	94件・289人

II 公2 県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り、事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業

(1) 定時総会講演会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
6月1日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	「静岡県の健康づくり施策 ー第4次静岡県食育推進計画を中心にー」	静岡県健康福祉部 医療健康局健康増進課 課長 川田 敦子氏	会場 89名 WEB 40名
		「能登半島地震の災害時活動報告と今後の災害に対する情報共有」	【座長】 静岡県栄養士会理事 渡邊 潤 【講師】 DATリーダー、スタッフ 自治体派遣者	

(2) 栄養士交流会

開催日	会場	目的	内容	参加人数
12月14日	【東ブロック】 (日本大学)	静岡県栄養士会の活動や、資質の向上にむけた研修会申し込み方法などを周知する。 同じ分野、年代を越えて活動する管理栄養士・栄養士の仲間づくり、情報を共有する。 非会員にも交流会への参加を募り、入会への働きかけを行う。	日常業務の課題や日ごろ疑問に思っていること等を自由に意見交換	28
11月10日	【中ブロック】 (静岡県地震防災センター)		地域ごとのグループワーク 「日頃の災害対策について」	16
10月27日	【西ブロック】 (袋井市 メロープラザ)		チャットをもっと活用しよう	17

(3) 静岡県栄養士大会学術研究会・交流会

第10回静岡県栄養士大会 演題発表および学術研究会発表者

開催日・会場		発表内容	発表者【所属事業部】	参加人数
2025年 2月8日 静岡県男女共同参画センターあざれあ	学術研究会	①CGM利用から考える、自転車競技選手の糖質補給戦略	河村美樹【フリーランス・栄養関連企業等】	79名
		②「鯖」に関する静岡の伝統食と食文化	前田節子【研究教育】	
		③たかが速食い！されど速食い！～令和4年度静岡市町別生活習慣等のモニタリング結果より～	塩谷祐実【公衆衛生】	
		④発達特性に伴う極端な偏食に対する栄養介入～重度栄養障害を防ぐために～	土屋彩菜【医療】	
		⑤回復期リハビリテーション病院の栄養管理	西谷江梨子【医療】	
		⑥食行動変容に向けた女子中学生サッカーチームの取り組みと課題	青島千恵【フリーランス・栄養関連企業等】	
		⑦静栄DATの取り組みの紹介（能登半島地震活動報告など）	戸田知里【学校健康教育】	
		⑧血中Ca、P濃度の動きから、摂取のタイミングを探る	新井英一【研究教育】	
	賛助会員紹介	賛助会員11社		
	静岡県栄養士会の取り組みについて	栄養ケア・ステーション		
交流会				

(4) 生涯教育基本研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
7月7日	静岡市立病院	PESを学ぶ	静岡県立大学 教授 新井英一氏	44名

(5) 生涯教育実務研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
6月1日	静岡あざれあ およびWEB (リモート)	定時総会特別講演 「能登半島地震の災害時活動報告と今後の災害に対する情報共有」	静栄DATリーダー・スタッフ・ 県自治体派遣者 (保健師等派遣)	会場89名 WEB 40名
7月7日	静岡市立病院	令和6年度診療報酬改定を探る 日本栄養士会 医療推進委員会報告 PESを使ったカルテ記載	静岡県栄養士会 理事 渡邊潤氏 理事 渡邊美子氏 静岡県栄養士会 理事 太田紘之氏	44名
9月8日	静岡あざれあ	在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ 研修会	金谷栄養研究所 所長 金谷節子氏	21名

(6) eiyoushiya・介護報酬改定に関する研修会

開催日	会場	内容	担当者	参加人数
6月16日	WEB (リモート)	eiyoushiya ① ～児童編～	福祉事業部 理事・運営委員	3名
7月21日	WEB (リモート)	eiyoushiya ② ～高齢編～		3名
8月18日	WEB (リモート)	栄養ケアマネジメント研修会① 1 2024年度 介護 報酬改定 による変更点・要点 2 栄養ケアマネジメントの基礎		5名
9月15日	WEB (リモート)	栄養ケアマネジメント研修会② 1 2024年度 介護 報酬改定 による変更点・要点 2 栄養ケアマネジメントの基礎		4名
10月20日	WEB (リモート)	栄養ケアマネジメント研修会③ 1. 2024年度介護報酬改定障害福祉サービス等報酬 まとめ 2. Q&Aで栄養ケアマネジメントの課題解決しよう		1名
11月17日	WEB (リモート)	eiyoushiya ③ ～障がい者施設編～ 1. 障がい福祉サービス等報酬まとめ 2. 現場の課題解決を目指して ～グループディスカッション		5名

(7) 地区別健康づくり推進事業

①地区代表者会議： 参加者 (各地区代表者、正副会長、地区事業部理事、研修部理事)

開催日	議事内容
4月14日	①2023年度地区研修会事業報告について 研修会・交流会/地域住民への健康づくり啓発活動 ②2024年度地区研修事業について 同上 ③会計報告・予算仮払いについて ④地区別研修会のあり方等について 出席人数 19 (うちWEB出席 7名)
10月23日 WEB	①2024年度地区研修会事業報告について ②2025年度地区研修事業計画にむけて ③2025年度予算について ④その他 WEB出席 21名
1月10日 WEB	①2024年度地区研修会事業報告について ②2025年度各地区研修事業計画にむけて ③2025年12月8日理事会協議事項について報告 ④意見交換 WEB出席 19名

②ブロック研修会

地区	開催日・会場	内容	講師	参加人数
東 ブロック	12月14日 日本大学 (三島市)	「食行動の心理学」	日本大学 危機管理学部 危機管理学科 日本大学大学院 危機管理学研究科 教授 木村 敦氏	28名
中 ブロック	11月10日 静岡県地震防災セ ンター (静岡市)	防災体験・見学・ミニ講話	静岡県地震防災センター職員	16名
西 ブロック	10月27日 メロープラザ (袋井市)	「在宅医療における 栄養士の業務と役割」	磐田在宅医療クリニック 福本 和彦 先生	17名

③各地区の研修会・交流会

地区	開催日・会場	内容	講師	参加人数
東伊豆・賀茂	1月28日 伊東市健康福祉センター	災害時の要配慮者への食支援に関する研修会	日本大学 非常勤講師 熱海ちとせ病院 杉山清子氏 下田 静氏	24名
田方	11月16日 あやめ会館 (伊豆の国市)	「薬剤師に学ぶ 食事と薬の関係」 交流会 感想及び意見交換	諏訪堂株式会社 取締役 薬剤師 諏訪 祥太郎氏	9名
東部	6月9日 裾野市民文化センター	東部地区で繋がる栄養士～日ごろのお仕事、共有しましょう～ part 2 栄養士会活動発表「能登半島地震被災地での栄養・食支援活動」他	グループワーク	21名
富士・富士宮	11月30日 富士市フィランセ	「子どもの食物アレルギー」 勉強会・交流会	静岡県立こども病院 管理栄養士 八木 佳子氏	17名
清庵	11月2日 辻生涯学習交流館 (静岡市)	「CKDの重症化を予防するために 検査値と栄養の関係を見直そう」	静岡県立大学食品栄養科学部 教授 新井英一氏	16名
中部	9月24日 オンライン (WEB)	「摂食 嚥下(在宅)」研修会 「訪問の言語聴覚士が出会う 栄養のこと」	城西クリニック 言語聴覚士 佐々木智加氏	22名
志太・榛原	10月22日 小川地域交流センター (焼津市)	地域密着型歯科医療 ～管理栄養士と歯科医師の 最強コラボ～	石田歯科医院 石田 璃久磨 先生	11名
中東遠・西部	7月28日 磐田市民文化会館 「かたりあ」	災害時の栄養・食生活支援 ～熱海土石流災害と能登半島 地震での経験を踏まえて～	浜松医科大学医学部付属病院 栄養部 渡邊 潤氏	16名

④地域住民への健康づくり啓発活動

地区	開催日・会場	内容	従事者数
東伊豆・賀茂	8月4日 伊東市ショッピングセンターデュオ	「伊東市暮らしと医療と介護の合同相談会」 伊東市内地域包括支援センター、地域リハビリ協議会、伊東熱海薬剤師会等の各団体が共同主催の形で相談会を開催した。 来場者の食事・介護の相談やフレイルチェックや経口補水液をサンプル配布しながら脱水予防の普及活動を図った。	2
	11月8日 伊東市八幡野コミュニティセンター	「伊東市八幡野健康フェスタ」 伊東市対島地区を対象に、会場で栄養相談ブースを設置した。 スタンプラリー形式で多くの来場者が立ち寄り、時間をかけて対応した。	2
	3月2日 伊東市ショッピングセンターデュオ	「伊東市暮らしと医療と介護の合同相談会」 伊東市内地域包括支援センター、認知症疾患支援センター、地域リハビリ協議会、伊東熱海薬剤師会等各団体が共同主催の形で相談会を開催した。栄養士になる方法や仕事内容などについての相談もあった。	1
田方	10月12日 伊豆市修善寺生きいきプラザ	「伊豆市社会福祉大会」 便秘予防・解消をテーマに、栄養相談、試食、試供品とリーフレット配布を行った。栄養相談は展示物簿説明や配布物の手渡し時にご本人の状況を聞き取って助言した。	4
中部	11月23日 農協あさはた支店	「農協祭」 JAあさはた支店で行われた農業祭に栄養士会として参加した。 野菜クイズを実施し、クイズ後に回答とともに栄養アドバイスを実施した。 会場9時前から集まり、あさはたじまん市などの販売が大盛況で、多くの人に実施できた。	4
志太・榛原	11月17日 牧之原ガスワンアリーナ	「牧之原産業フェア/食育フェア」 ベジチェックを使用しての野菜摂取増量、減塩などの啓蒙活動を行った。	7
中東遠	11月10日 浅羽保健センター	「袋井市ふれあい夢市場」 料理カードを用いた食べ方チェックシート、パンフレットの配布、栄養相談等を行った。	6
西部	2月11日 浜松市高台協働センター	「高台協働センターまつり」 骨の健康をテーマに骨粗しょう症の病態、予防に役立つ食品や食事・生活習慣などを解説したパネル展示、料理カードを用いて、バランスの良い食事とカルシウムを増やす献立の工夫を伝えた。 「健康な食事」を考える冊子、カルシウム&マグネシウムふりかけ、啓発リーフレットを配布した。 市民への栄養相談(骨粗しょう症、慢性腎臓病など)を行った。	3

(8) 災害時栄養支援事業

静岡県栄養士会は、平成25年5月10日 災害対策基本法第2条第6号に基づく「指定地方公共機関」の指定を受け、災害支援体制の整備構築を図っている。

令和5年3月28日、災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定を静岡県と締結した。

会議開催状況	静栄DAT運営会議（運営委員） 第1回：5月14日 WEB 11名 第2回：6月19日 WEB 12名 第3回：8月6日 WEB 17名	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総会特別講演での報告内容について ・静栄DATスタッフ育成研修について ・事前学習の問題作成について ・集合研修のテーマ・内容について ・日栄JDA-DATスタッフ研修について ・今年度運営委員について ・静岡県・熱海市・伊東市総合防災訓練について ・スタッフブルゾン・IDカード購入について 		
静栄DATスタッフ登録	運営委員、DATリーダー、DATスタッフ 179名（2025年3月31日現在）				
静岡県総合防災訓練への参加	9月1日に熱海市・伊東市で開催の予定だったが、天候不良により中止となった。 11月2日に下田市で要支援者災害対応研修が行われ、JRAT（災害リハビリテーション支援協会）、DWAT（災害派遣福祉チーム）とともに参加し、講義を行った。				
研修会への受講勸奨	第14回JDA-DATリーダー育成研修会	10月5、6日 石川県地場産業振興センター	久保田美保子 大城貴恵 菊地しおり 杉本尚子 中村朱美 渡邊潤	リーダー登録者数 32名 (2025年3月末現在)	

災害時栄養支援研修会

開催日	会場	内容	参加人数
8月24日	WEB オンデマンド配信 ぬまづ健康福祉プラザ サンウェルぬまづ	①基礎講座（オンデマンド配信） 「災害の理解」、「災害支援と活動の実践Ⅰ」、「災害支援と活動の実践Ⅱ」、「栄養アセスメントと指導・相談」 「災害時の食事」 ②DAT スタッフ 育成 研修会 事前学習講義と解説 能登半島地震支援活動から学ぶ災害時の食支援に関する講義と実践 バッククッキング 調理実習 講師 静栄DAT運営委員 DiMS 操作説明 賛助会員展示見学 演習、ロールプレイング 交流会「能登半島地震支援活動の報告及び課題」 ブロック別グループワーク	33名

(9) オンデマンドリカレント教育研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
11月14日 ～ 1月24日	WEB (オンデマンド)	「Web学び直し講座」（第3期） ①炭水化物の栄養 1・2 ②脂質代謝 1・2 ③三大栄養素の代謝 ④水と電解質の代謝 1・2・3 ⑤鉄の代謝と貧血 ⑥心臓と血圧について ⑦腎臓病について ⑧スポーツ栄養学 ⑨給食経営管理 ⑩栄養教育論 ⑪栄養疫学	静岡英和学院大学短期大学部 望月裕子 氏 静岡県立大学 榛葉有希 氏 日本大学短期大学部 篠原啓子 氏 静岡県立大学 新井英一 氏 日本大学短期大学部 篠原啓子 氏 日本大学短期大学部 篠原啓子 氏 裾野赤十字病院 菅沼志保 氏 日本大学短期大学部 小山ゆう 氏 静岡県立大学 市川陽子 氏 静岡県立大学 桑野稔子 氏 静岡県立大学 串田 修 氏	208名

2 会の運営に関する事項

(1) 定時総会開催

開催日	会 場	出席会員数	議案事項
6月1日	静岡県男女共同参画センターあざれあ および オンライン(WEB)	過半数を超えているので成立 書面による表決 742名 (正会員総数 1,340名)	2023年度事業報告承認の件 2023年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)および財産目録承認の件 役員選任の件 日本栄養士会代議員承認の件 報告事項 2024年度執行計画について

(2) 理事会開催状況

開催日	会 場	出席人数	議事内容
第1回 4月14日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	24	2023年度事業報告及び決算の承認について 2024年度定時総会の運営について 研修会計画について 表彰候補者の推薦、感謝状の贈呈について 他
第2回 6月1日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	20	新入会員の承認について 栄養CS部訪問栄養食事指導運営委員会委員について 定時総会の運営について 他
第3回 6月1日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	27	代表理事の選任について 理事の役割分担について、職域事業部長について
第4回 7月28日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	25	役員、運営委員一覧表について 総会の反省、来年の対応について 地区担当理事の選出について 職業紹介事業責任者の後任について 他
第5回 10月6日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	24	2025年度事業計画、予算編成について 学校健康教育事業部会員への連絡メールについて 2025年度定時総会特別講演テーマについて 他
第6回 12月8日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	26	2025年度事業計画、予算編成について 地区事業部2025年度予算について 2025年度県民フォーラムの内容・実施場所等について 他
第7回 1月26日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	27	2025年度予算編成について 2025年度事業計画案の作成について 定時総会特別講演の演題について 栄養士大会について 他
第8回 3月2日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	26	2025年度事業計画承認について 2025年度定時総会・講演会について 研修管理システム(manaable)の導入について 第11回 栄養士大会実施について 他

(3) 年間活動報告

①公益社団法人日本栄養士会定時総会

2024年6月22日・23日【横浜】

出席代議員：久保田美保子、渡邊美子、池谷広美、田森稔浩、山崎靖晃

②公益社団法人日本栄養士会 諮問会議

第1回：2024年5月11日【オンライン(WEB)】

出席者：若林恭子

第2回：2025年2月15・16日【東京】

出席者：新井英一

③東海北陸地区会長等合同会議

2024年8月10・11日【愛知県名古屋市】

出席者：新井英一、久保田美保子、若林恭子、内藤慶子

④公益社団法人日本栄養士会職域事業部全国代表者会議・研修会などへの派遣

職域名	開催日	開催地	名 称	氏 名	
医 療	4月20日	東京	病院医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	鈴木恭子	渡邊美子
	7月27日	WEB	医療施設と福祉施設における同職種間連携推進セミナー	太田 紘之 菊地しおり	石川真希 中村朱美
	8月24日	WEB	病院・医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための地区リーダー情報交換会	八木佳子 渡邊美子	太田紘之
	2月22日	WEB	病院・医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための地区リーダー情報交換会	渡邊美子 八木佳子	太田紘之
学校健康教育	7月10日	WEB	学校健康教育VCS（東海北陸ブロック）	小栗美樹子	
	1月19日	WEB	学校健康教育職域管理栄養士・栄養士育成のためのリーダー研修会	小栗美樹子	
研究教育	2月22日	WEB	研究教育職域管理栄養士・栄養士リーダー育成のための全国リーダー研修会	篠原啓子	
公衆衛生	4月20日	WEB	行政栄養士育成のための全国リーダー研修会	日置朝子	
	10月19日	WEB	公衆衛生事業推進委員会 東海・北陸ブロックVCS会議	平塚歩実	
	2月24日	WEB	2024年公衆衛生実務研修会	平塚歩実	
福 祉	2月22日	WEB	福祉職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	田森稔浩	
フリーランス・ 栄養関連企業等	12月8日	WEB	フリーランス・栄養関連企業等管理栄養士・栄養育成のための全国リーダー研修会・オンライン	池谷広美 杉山清子	森下知代

⑤他団体との連携

内 容	参加者	開 催 日		
ふじのくに健康増進計画推進協議会	新井会長	5/30		
静岡県民歯や口の健康づくり会議	新井会長(代理久保田副会長)	3/12		
静岡県地域包括ケア推進ネットワーク会議	新井会長	10/31	3/10	
静岡県地域包括ケア推進ネットワーク会議認知症施策推進部会	若林副会長	9/5	2/18	
静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会	新井会長	11/20		
静岡県循環器病対策推進協議会	久保田副会長	2/14		
アレルギー疾患医療連絡協議会	久保田副会長	3/4		
静岡県がん診療連携協議会支持療法部会	稲野利美、高橋玲子	10/4	1/31	
障害を理由とする差別解消推進県民会議	田森稔浩	12/17		
静岡県男女共同参画推進会議、団体交流会	事務局長	8/20	3/5	
静岡県歯科医師会糖尿病歯周病医療連携委員会	久保田副会長	11/21	2/6	
静岡県8020推進大会、住民会議	新井会長	6/20	10/17	1/16
静岡県在宅歯科医療推進室運営委員会	柴原理江	9/26		
医療的ケア児等支援ネットワーク会議	鈴木恭子	8/21	2/5	
静岡県保険者協議会	若林副会長	8/28	3/11	
静岡県保険者協議会作業部会	紅林真佐代	11/26	2/7	
ミズモト料理学園第16回ふじのくに食育コンテスト審査他	小川ももこ	8/8		
静岡県牛乳普及協会 料理コンクール審査、他	坪井 厚	9/30	10/20	
しずおか健康いきいきフェア	若林副会長、稲葉由美	12/12		
地域包括ケア関係団体担当者連絡会議	新井会長	8/27		
静岡県母性衛生学会役員会	新井会長	9/11欠席	1/30欠席	
静岡市食育推進会議	久保田副会長	7/31	1/29	

内 容	参加者	開 催 日
静岡市静岡医師会定例会議、合同勉強会 他	新井会長、久保田副会長	7/2 10/11 1/28
健康はままつ21推進会議	柴原理江	欠席
浜松市食育推進連絡会	柴原理江	8/1 2/22
浜松市 糖尿病性腎症重症化予防検討会委員	渡邊潤	5/23、7/25、9/26、11/28、1/23
静岡市 地域包括支援センター運営協議会／運営部会	紅林真佐代	5/29、10/21、3/11 / 6/12、10/17、2/19
富士宮市 ケアマネジメント検討会アドバイザー	鈴木初音	8/21 2/19
沼津市 市民健康増進会議	池谷広美	2/3
富士市 住民歯科会議	佐々木和子	9/3
伊豆の国市 在宅医療および介護連携推進会議	谷津倉友美	5/28 9/12 3/26
藤枝市 医療・介護連携推進会議	寺田直哉	8/21

⑥表彰に関する事項

表彰日	項 目	内 容	受賞者 (敬称略)		
6月1日	静岡県栄養士会	栄養指導業務功労者	佐野 順子	鈴木 行奈	須長ますみ
			飯田 洋美	藤沢 江美	磯野 和栄
			奥津和予子	平賀 晶子	増田 成子
			大庭 紀子	日置 朝子	山崎富美子
			内田 由花	増田真由美	中村 英子
			鈴木 美紀	青野真奈美	伊奈 恵子
			戸井口淳子	大瀧 裕子	加藤 昌代
			中村 貴子	坪井 恵	岩田 圭子
			内田 理恵	芹沢 秀巳	
10月13日	日本栄養士会	会長表彰 (50年業務貢献者)	増田姫誉美	井嶋恵津子	
		会長表彰 (25年業務貢献者)	飯田 洋美	内田 理恵	大橋 路代
			奥津和予子	鈴木 行奈	久保田美佳
			大庭 紀子	藤沢 江美	望月 季美
			内田 由花	平賀 晶子	井浪 千恵
			鈴木 美紀	日置 朝子	森下 知代
			戸井口淳子	増田真由美	林 咲子
			中村 貴子	請井久仁香	佐野 順子
10月13日	厚生労働大臣	栄養指導業務功労者	池田あずさ		
2月25日	日本公衆衛生協会	公衆衛生事業功労者	永田 順子		
2月25日	厚生労働大臣	公衆衛生事業功労者	江間 章子	井上三千代	

(4) 会員の状況 (2025年3月31日現在)

①名誉会員 2名

②正会員 (会費納入人数)

継続会員	1,234名
新入会員	96名
計	1,330名

職域事業部別会員数 (※名誉会員は含まない)

医療	学校健康教育	研究教育	公衆衛生	福祉	フリーランス・ 栄養関連企業等	計
525名	72名	45名	114名	304名	270名	1,330名

◎会員増に向けての取り組み状況

- i 「メールマガジン制度」 （平成18年度から実施）
（再掲）メールマガジン登録者 993名（2024年度末）

- ii 「栄養士交流会」の開催
非会員にも参加を呼び掛け、県内東・中・西の各ブロックで「交流会」を開催し、
栄養士会の運営及び事業等について理解を深めてもらった。
また、情報交換など交流を図り、仲間づくりの応援をした。

③賛助会員 53社

第2号議案

法人名：公益社団法人 静岡県栄養士会

貸借対照表
2025年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,354,533	21,644,157	△ 1,289,624
未収会費	29,150	0	29,150
未収金	5,250,000	5,250,000	0
貯蔵品	7,439	8,791	△ 1,352
前払金	116,330	117,440	△ 1,110
仮払金	15,300	21,300	△ 6,000
流動資産合計	25,772,752	27,041,688	△ 1,268,936
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
災害支援積立預金	350,113	300,101	50,012
記念事業積立預金	300,075	250,063	50,012
特定資産合計	650,188	550,164	100,024
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	72,800	72,800	0
敷金	306,000	306,000	0
その他固定資産合計	378,801	378,801	0
固定資産合計	1,028,989	928,965	100,024
資産合計	26,801,741	27,970,653	△ 1,168,912
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	5,073,250	5,429,250	△ 356,000
預り金	4,220,600	4,453,450	△ 232,850
流動負債合計	9,293,850	9,882,700	△ 588,850
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,293,850	9,882,700	△ 588,850
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	17,507,891	18,087,953	△ 580,062
(うち特定資産への充当額)	(650,188)	(550,164)	(100,024)
正味財産合計	17,507,891	18,087,953	△ 580,062
負債及び正味財産合計	26,801,741	27,970,653	△ 1,168,912

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日 から 2025年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	24	24	0
受取入会金			
受取入会金	96,000	97,000	△ 1,000
受取会費			
正会員受取会費	12,664,150	12,891,500	△ 227,350
賛助会員受取会費	1,590,000	1,590,000	0
受取会費計	14,254,150	14,481,500	△ 227,350
事業収益			
公1	13,423,808	12,941,658	482,150
公2	282,000	488,600	△ 206,600
事業収益計	13,705,808	13,430,258	275,550
受取補助金等			
受取民間助成金	126,000	0	126,000
雑収益			
受取利息	6,362	205	6,157
雑収益	328,140	217,600	110,540
雑収益計	334,502	217,805	116,697
経常収益計	28,516,484	28,226,587	289,897
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	6,087,269	5,672,214	415,055
福利厚生費	1,019,199	738,562	280,637
旅費交通費	2,765,988	2,202,947	563,041
通信運搬費	1,124,832	1,312,628	△ 187,796
消耗品費	1,491,800	1,651,117	△ 159,317
修繕費	101,744	99,170	2,574
印刷製本費	302,730	269,237	33,493
光熱水料費	101,456	93,337	8,119
賃借料	681,783	654,436	27,347
保険料	83,500	81,880	1,620
諸謝金	8,562,321	8,617,149	△ 54,828
租税公課	952,349	88,000	864,349
支払負担金	6,600	6,000	600
地代家賃	1,102,161	1,074,257	27,904
委託費	350,228	354,207	△ 3,979
渉外費	22,556	30,103	△ 7,547
会議費	60,493	8,980	51,513
雑費	68,916	64,679	4,237
事業費計	24,885,925	23,018,903	1,867,022

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	1,849,196	1,771,636	77,560
福利厚生費	309,613	230,680	78,933
会議費	109,776	154,284	△ 44,508
渉外費	0	9,262	△ 9,262
旅費交通費	253,488	261,613	△ 8,125
通信運搬費	7,143	98,630	△ 91,487
消耗品費	2,958	15,545	△ 12,587
修繕費	41,356	43,930	△ 2,574
光熱水料費	41,239	41,348	△ 109
賃借料	176,044	195,051	△ 19,007
保険料	33,940	36,270	△ 2,330
諸謝金	8,777	5,000	3,777
租税公課	86,451	0	86,451
地代家賃	447,995	475,895	△ 27,900
委託費	835,542	702,317	133,225
雑費	7,103	5,555	1,548
管理費計	4,210,621	4,047,016	163,605
経常費用計	29,096,546	27,065,919	2,030,627
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 580,062	1,160,668	△ 1,740,730
当期経常増減額	△ 580,062	1,160,668	△ 1,740,730
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 580,062	1,160,668	△ 1,740,730
当期一般正味財産増減額	△ 580,062	1,160,668	△ 1,740,730
一般正味財産期首残高	18,087,953	16,927,285	1,160,668
一般正味財産期末残高	17,507,891	18,087,953	△ 580,062
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	17,507,891	18,087,953	△ 580,062

財 産 目 録

2025年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 普通預金 定期預金 未収会費 未収金 貯蔵品 前払金 仮払金	手元保管	運転資金として	69,697
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.12300-15650791)	同上	1,606,987
	郵貯銀行/名古屋貯金事務センター (No.00870-9-57832)	同上	8,601,850
	静岡銀行/呉服町支店 (No.1285838)	同上	7,915,913
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-07)	同上	2,160,086
	静岡県	令和6年度正会員会費	29,150
	静岡県	令和6年度委託料	1,000,000
	静岡県	食べるから繋がる地域包括推進事業業務委託料	3,250,000
	静岡県	介護予防推進指導者育成研修事業業務委託料	1,000,000
	静岡県	しずおか健康惣菜パートナー運営事務局業務委託料	1,000,000
	手元保管	郵便切手	6,439
	手元保管	収入印紙	1,000
	手元保管	令和7年度保険料	116,330
手元保管	繰越納付済源泉所得税額	15,300	
流動資産合計			25,772,752
(固定資産)			
特定資産			
災害支援積立預金 記念事業積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-17)	災害支援として使用	50,029
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-19)	同上	50,035
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-23)	同上	50,030
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-01)	同上	50,014
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-03)	同上	50,004
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-08)	同上	50,001
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52350-10192507-01)	同上	50,000
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-24)	記念事業として使用	100,058
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-02)	同上	50,014
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-06)	同上	50,002
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-09)	同上	50,001
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52350-10192507-02)	同上	50,000
	その他固定資産		
什器備品		プロジェクター	1
電話加入権		#282-5507 他	72,800
敷金		事務所家賃敷金	306,000
固定資産合計			1,028,989
資産合計			26,801,741
(流動負債)			
前受金 預り金		令和7年度静栄会費他	5,073,250
		令和7年度日栄会費他	4,220,600
流動負債合計			9,293,850
固定負債合計			0
負債合計			9,293,850
正味財産			17,507,891

監査報告書

公益社団法人 静岡県栄養士会
会長 新井 英一様

2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日迄）の事業報告及び
附属明細書、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録及び附属明細
書を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

2025年4月15日

公益社団法人 静岡県栄養士会

監事 水嶋美穂子 

監事 鈴木 恭子 

2025 年度 公益社団法人静岡県栄養士会事業計画

I 基本方針

超少子高齢社会を迎え、公益社団法人静岡県栄養士会は、県民の健康寿命延伸および疾病の重症化予防そして高齢者のフレイル予防にむけて、個々人に合った適切な食生活および栄養管理の重要性の普及推進に努める事業を推進します。栄養管理は、保健・医療・福祉・教育・スポーツおよび災害など、多岐にわたる分野において不可欠であり、管理栄養士、栄養士は専門職業人としての倫理と科学的根拠に基づく高度な技術を習得し、「栄養の指導」を通して、県民の健康増進にかかる栄養政策を展開します。

今年度の事業内容の特徴

- ・ 県民の健康課題、栄養問題に対して、食と栄養の科学的根拠を創出し、その知識の啓発をもって、課題解決に挑む事業を推進します。
- ・ 重点項目実現のため、就労する管理栄養士・栄養士が皆会員となるよう、魅力的な事業を展開し、会員数増加による組織力の強化を図ります。
- ・ 会員が習得した知識を、社会で十分に発揮できるような研修会や情報交換会を企画し、県民に必要とされる管理栄養士・栄養士を増やし、食と栄養の指導を通して社会に貢献できる人材を育成します。
- ・ 当会ホームページや一般公開講座を通して、県民の健康寿命延伸のための情報を提供する事業を促進します。
- ・ 多職種との連携強化を図り、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けるために、地域包括に参画し、食支援の事業を展開します。
- ・ 自然災害での食支援体制の構築に向け、JDA-DAT ならびに県災害対策本部との連携の強化を図り、会員の支援活動への理解を深める事業を実施します。
- ・ すべての事業に対し、society5.0 社会を見据えた環境整備・人材育成を目指し、ICT システムの効率的な運用を充実させ、ホームページ、メルマガ、SNS 等を介して、会員間・多職種間との連携を図り、情報共有を奨励します。

II 重点項目

- 1 県民の健康保持増進を目的に、0 歳児から高齢者までライフステージに応じた栄養管理を支援します。また、その技術を習得するための講演会・研修会・勉強会を開催します。
- 2 栄養ケア・ステーションでは、安心して安全、且つ効率的に健康保持増進に役立つ食に関する知識を提供する管理栄養士・栄養士を紹介します。
 - ・ 健康保険組合の特定保健指導の推進に連携協力し、県民のメタボリックシンドローム（生活習慣病）の予防に努める管理栄養士の紹介を引き続き実施します。
 - ・ 県内各地区の医師会との契約締結を推進し、生活習慣病の重篤化予防のための栄養食事指導を行う管理栄養士を紹介します。

・日本栄養士会が認定する、「認定栄養ケア・ステーション」の県内各所への設置に協力し、その事業所に従事する管理栄養士・栄養士のスキルアップと日本栄養士会が目指す国民の食を介しての健康寿命の延伸への方向性を保持するための、担当者会議並びに研修会を実施します。

- 3 県・市町の健康づくり担当課等と連携し、県民の健康保持増進と疾病予防等の政策に協力します。
- 4 傷病者の病気回復、合併症予防、社会復帰支援等の病態栄養食事指導を行います。そのための最新情報の習得、科学的根拠に基づく食支援等の技術向上研修会を開催します。医療費・介護費の支出をできる限り減額するための栄養管理と食支援を行います。
- 5 高齢者施設入所者の健康と身体機能の保持向上のため、高齢者個々人に合った栄養管理と食支援を目指します。介護保険料の支出を最小限に抑えるよう栄養管理と食支援を行います。また、その技術向上のための研修会を開催します。
- 6 関連職能団体との連携を深め、県民の健康保持増進、心身機能の向上と傷病者への支援、生活習慣病予防、高齢者の栄養管理など、県民が生きがいをもって生活できる社会の実現に資するための公益的な事業を推進します。
- 7 在宅療養者・居宅要介護者に対し、地域包括支援センターを中心とする関連職種と連携を図り、栄養管理と食支援の推進に努力します。
- 8 国・県・市町に対し、本会の目的である県民の食を介しての健康保持増進と健康寿命の延伸に資するため、必要な政策等の要望を提言します。
- 9 静栄 DAT（災害支援チーム）組織強化のための会員研修・DAT リーダー・スタッフの育成を推進します。
- 10 これらの活動促進のために、保健・医療・福祉・スポーツ・教育関連の研究所・学会・職能団体、管理栄養士・栄養士養成施設などと連携・協働し、管理栄養士・栄養士個人では実現しにくいことを中心に、その活動を支援します。
- 11 次世代を担う幼児・学童・生徒・学生の食育と食物アレルギーの具体的対策を推進します。

Ⅲ公益目的事業

公1	科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通し、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業
----	--

(1) 健康栄養知識普及事業

内 容	県内各市町、他の職種の非営利団体で実施する健康まつり等のイベントで行う栄養教育全般(展示、栄養相談、講話等)について、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣することにより、望ましい食生活の知識普及や情報提供を行い、「食を通して人を育む」県民運動の推進に協力する。				
実施時期 ・回数	4月～2月 ・13回	会場	各市町保健センター等	参加予定人数	10,000人

(2) 健康づくり啓発協力事業

内 容	各種公共団体が実施する県民を対象とした講座・セミナー等に、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣し、食育を軸に健康や食べ物について学べる体験型の活動を行い、健康づくりのための啓発事業に協力する。				
実施時期 ・回数	7月～3月	会場	ツインメッセ等	参加予定人数	1,000人

(3) 在宅介護者の食生活支援事業

内 容	高齢化社会に伴い介護予防に対する取り組みは、ますます活発になってきている。その中で高齢者・要介護者の食事についての知識を身に付けてもらうため、多職種とも連携して安心できる食生活支援ができる研修会を開催する。				
実施時期 ・回数	1回	会場	クリエート浜松	受講予定人数	30人

(4) 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業【静岡県健康福祉部健康増進課 委託事業】

内 容	令和2年度から、市町において高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事業が開始されたことから、市町における事業を促進するため、通いの場へ協力可能な医療専門職を養成することとなった。「指導者育成研修」修了者を高齢者の通いの場への紹介する事業と、新たに個別支援に対応できる管理栄養士・栄養士の育成を推進するため、研修等を実施する。				
実施時期 ・回数	2回	会場	WEB	受講予定人数	未定

(5) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業【富士宮市フードバレー推進協議会 委託事業】

内 容	市民に向けて地場産の食材の紹介や地産地消の意義について周知し、富士宮市の食文化について理解を深める。				
実施時期 ・回数	5月～2月	会場	未定	事業開催回数	未定

(6) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター 委託事業】

内 容	静岡県教育委員会と連携し、県内の高等学校の生徒を対象に、健康の保持・増進と生活習慣病予防のため、『健康な食事』について考える冊子』を活用し、健康づくりに繋がる講話と調理実習を行う。また、一般県民を対象とした栄養相談等において『健康な食事』について考える冊子』を活用し、県民の健康増進の啓発を図る。				
実施時期 ・回数	6月～2月	会場	静岡県内高等学校 13回	受講予定人数	200人程度

(7) 食べるから繋がる地域包括ケア推進事業【静岡県健康福祉部健康増進課 委託事業】

内 容	在宅で暮らす高齢者の低栄養を予防・改善する環境づくりを進めるため、在宅高齢者の介護に関わる専門職(医療関係者、介護関係者、行政等)がそれぞれの役割を認識し、連携して対応できる体制づくりを行うことを目的に会議及び担当者連絡会を開催する。 また、啓発資料を活用し、栄養ケア・ステーションの周知を進める。			
実施時期 ・回数	未定	会場	静岡市内	
対象者	地域包括支援センター職員、介護支援専門員をはじめ、医療介護関係者等			

(8) 栄養ケア・ステーション推進事業

内 容	<p>管理栄養士・栄養士は、地域住民との双方向の結びつきを強化し、あまねく地域住民への栄養ケアの支援と指導を通じて生涯にわたる実り豊かで健やかな生活を維持することのできる地域社会づくりを目指し、栄養ケア業務の地域拠点となる栄養ケア・ステーションを運営する。</p> <p>コーディネーターを配置し、行政、医療機関、福祉施設、民間企業等から仕事を請け負い、有料職業紹介事業所の資格も有し、登録会員に下記業務を提供している。</p> <ol style="list-style-type: none">①診療報酬・介護報酬にかかる栄養食事指導②訪問型の栄養食事指導③病態栄養食事指導④栄養・食に関する相談⑤特定保健指導⑥セミナー・研修会の講師⑦料理教室・栄養教室の講師⑧健康・栄養に関するレシピや献立の考案⑨食品・栄養成分表示に関する指導・相談⑩スポーツ栄養に関する指導・相談⑪地域包括ケアシステムにかかる事業関連業務 <p>栄養ケア・センター機能の充実を図るとともに、各地域で活動する認定栄養ケア・ステーションと共に県民のニーズに応える活動を展開していく。認定事業所や認定を計画している新規事業主へのサポートを行い、県内各地での拡充を目指す。</p> <p>特に昨年度委員会を立上げた訪問栄養食事指導の整備を継続し、栄養ケア・ステーションの組織強化を図る。</p>
-----	---

(9) 県民フォーラム

内 容	健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指して、県民に向けて広く健康・栄養に関する情報発信を行う。年1回継続的に講演会を実施する。
-----	--

(10) 健康づくり提唱のつどい

内 容	ヤクルト(株)の共催により、外部講師による食や健康をテーマとした公開講座を開催することにより、県民の健康福祉の向上を図る。
-----	---

(11) 広報事業

内 容	メールマガジンの定期配信、SNS(Instagram)による情報発信など、会員および会員外への広報活動を継続し、「栄養士会活動の見える化」を推進する。ホームページの「栄養士おすすめメニュー」を定期的に更新し、県民の健康的な食生活の維持・増進に貢献する。
-----	--

公2	県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業
----	---

(1) 定時総会講演会

内 容	年1回の定時総会にて基調講演を開催する。国民の健康づくりの推進とQOLの向上、専門職としての自己研鑽、各職域の管理栄養士・栄養士が情報収集できる場を提供する。オンライン視聴を併せたハイブリッド形式で開催する。 本総会では、静岡県行政による静岡県の取組についての講演と、石川県栄養士会の徳丸季聡氏による特別講演を実施する。特別講演では、「石川県栄養士会の経験から学ぶ～地域・施設で栄養士ができる平時からの備え～」をテーマに、管理栄養士・栄養士が現場で備えるべきことについて、具体的な内容や実践的な知識を身につけることを目的とし、実施する。				
実施時期 ・回数	6月7日	会場	オンライン・あざれあ	受講予定人数	170人

(2) 栄養士交流会

内 容	静岡県栄養士会の活動や、資質の向上にむけた研修会などを周知する。同じ分野、年代を越えて活動する管理栄養士・栄養士の仲間づくり、情報を共有するために地区事業部と協力してブロック研修にて交流会を開催する。 非会員にも交流会への参加を募り、入会への働きかけを行う。				
実施時期 ・回数	5月～12月 ・3回	会場	各ブロック研修会場	受講予定人数	30人/回

(3) 静岡県栄養士大会(学術研究発表会及び交流会)

内 容	静岡県栄養士会独自の事業として、平成27年度より開催し、11回目となる。学術研究発表を通じて事業部や会員の取り組みおよび成果を共有することで、互いに良い刺激を受けている。学会発表はハードルが高いと感じられる人には、本会からスタートし、自己研鑽を積み、質の高い管理栄養士・栄養士としてさらに飛躍するための場を提供する。 また会員同士の横のつながりを作る、情報交換ができるような交流会を開催する。				
実施時期 ・回数	2月	会場	中部地区	受講予定人数	80人

(4) 生涯教育基本研修会

内 容	日本栄養士会 生涯教育基本研修について情報発信し、受講を推奨する。 日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持し、国民のために役立つ能力を身に付ける。 栄養ケアプロセス等(講義及び演習)				
実施時期 ・回数	4～3月	会場	オンライン等	受講予定人数	延べ 100人

(5) 生涯教育実務研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持、分野に特化した知識と技術を習得するための実務研修会(Webでのリカレント教育含む)を開催する。 ・(医療)6月GLIM基準を学ぶ GLIM基準導入の実際/GLIM基準症例(講演1単位/演習0.5単位)				
実施時期 ・回数	6月	会場	静岡市立静岡病院	受講予定人数	50人/回

(6) eiyou寺子屋

内 容	栄養士会員のスキルアップ・アウトプット力の向上を目的とした集合型研修会を開催する。主に、児童施設・高齢施設・障がい施設を対象とした内容の研修を各1回ずつ、3回開催する。				
実施時期 ・回数	6月～1月 ・3回	会場	あざれあ	受講予定人数	30人/回×3回

(7) 地区別健康づくり推進事業

内 容	県内を9地区にわけ、各地区において小規模研修事業やイベントを企画運営し、地域に密着した県民の健康づくり支援を推進する。また、県内東部・中部・西部の3ブロックごとに研修会を開催し、会員の居住地の近いところで開催することで顔の見える関係ができるようにする。これにより、会員相互の情報交換、仲間づくりの機会とし、会員の継続入会や新規会員の増加をめざす。 ①東・中・西ブロック研修を企画・運営(各地区年1回) ②各地区小規模研修会・勉強会・交流会を開催 ③地区別イベントの開催 ④県内で行われる大規模イベント等への出展協力 ⑤代表者会議やブロック別運営会議の開催 ⑥市町や県との事業への積極的参加により、栄養士会の理解及び周知				
-----	---	--	--	--	--

(8) 災害時栄養支援事業

内 容	<p>予想される南海トラフ巨大地震等災害発生時に備え、有事の際に直ちに県・市町に協力し活動できる組織(静栄DAT)の体制を強化するとともに、災害時における食支援に役立つ知識・技術の習得のための研修会を開催する。</p> <p>静栄DATは県内外で大規模災害が発生した地域において、公益社団法人日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)と連携し、(1)被災者支援、栄養・食生活相談、(2)避難所の食事状況調査や啓発活動、(3)特殊栄養食品(アレルギー児用粉ミルク、高齢者用食品、病者用食品等)の提供に係る支援、(4)その他必要な支援の任務に従事する。これらの活動内容をとりまとめ、今後役に立てる。特に感染症への対応を考慮した支援及び平時の活動について検討するとともに、災害対策マニュアル及びアクションカードのブラッシュアップを行う。また、県との災害協定締結後、医療・保健・福祉分野における災害支援団体との更なる連携を図るため県や市町が主催する防災訓練や研修会への参加をはじめ、平時からの連携強化に取り組む。</p> <p>①災害時栄養支援スタッフ育成及びスキルアップ研修会開催 ②静岡県栄養士会災害対策マニュアル及びアクションカードのブラッシュアップ ③静栄DAT運営委員会開催 ④JDA-DATリーダー育成研修会・リーダースキルアップ研修会への受講奨励 ⑤県及び市町の防災訓練への参加</p>
-----	---

(9) オンデマンドリカレント教育研修会

内 容	会員の専門知識の向上に寄与するため、現場で必要となる基礎知識や実践に関わる最新知識を学びなおす機会を提供する。オンデマンド講座とし、視聴期間内に、学びたいテーマを受講できるように講座を設定する。講座のテーマは、会員の学びたいテーマをふまえて設定する。他の生涯教育研修と同様、受講後の提出物の状況を確認し、単位認定を行う。				
実施時期 ・回数	10月～12月	会場	WEB	受講予定人数	50名

IV その他

(1) 事業部運営

① 職域事業部

職域事業部名	運 営 方 針
医 療	PES(栄養診断の根拠)及びGLIM基準(世界共通の低栄養診断基準)による栄養管理の標準化を推進し、健康・医療情報の情報集積に積極的に取り組む。情報集積によって、エビデンスの構築、質の高い栄養管理、更には医療施設から在宅へのシームレスな栄養管理体制の実現を目指し、県民の疾病予防、健康増進に寄与する。
学校健康教育	小中学校、特別支援学校及び夜間定時制高校において、学校給食の栄養管理、食に関する指導、個別的な相談指導を通し、食育の普及を図るとともに、健康の増進および望ましい食生活の形成に寄与する。
研究教育	県内4つの養成校の連携を密に図りながら、栄養士会に対する学術面のサポートおよび、栄養士会が主催する事業への学生の参加を検討し、卒業後の栄養士会入会者増を目指す。
公衆衛生	生涯を通じた健康づくり・栄養改善推進のため、専門知識の普及に努め、県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献することを目指す。
福 祉	主に3つの福祉(児童・高齢・障がい)の活性化を図る。具体的には、法整備に関するサポート・専門的なスキルアップ・コミュニティの構築を図り、充実した支援を提供する。
フリーランス・栄養関連企業等	県民の健康づくりを支援するため、県・市・町、関係団体等と協力し、多職種と連携を取りながら県民の健康寿命の延伸に寄与する。また、常に実践で活躍できる会員の育成とスキルアップ研修等を企画、実施する。 各領域内でのネットワーク構築およびスキルアップの機会も提供しながら、情報を共有化できるよう連携を図る。

② 研修部 運営方針

各種研修会の調整(生涯教育基本、実務、演習等)
各分野ごとの認定管理栄養士・栄養士の取得の推奨
研修事業の情報共有・啓発活動並びに会員の希望する研修内容の把握
生涯教育の単位振替、自己研鑽の単位審査、修了証書の発行等

③ 学術部(栄養士大会企画委員会) 運営方針

静岡県栄養士大会の企画運営及び場の提供

④ 広報部 運営方針

メールマガジンの配信、SNS(Instagram)での情報発信による栄養士会活動の見える化

⑤ 地区事業部 運営方針

各地区の実情に即した研修会や勉強会、交流会を企画・実施し、会員の資質向上および会員間の連携・交流を図る。また、地域密着型のイベントを企画・開催することにより、公益法人として県民の健康長寿の延伸に寄与する。

- ①代表者会議において、情報共有及び9地区の企画・運営の調整。
- ②多職種協働で、市町の利点を活かしたイベントに参加協力および多職種との連携の強化。
- ③各地区のニーズに合わせた参加しやすい研修会や勉強会、交流等の企画。
- ④会員増に向け、管理栄養士・栄養士が顔の見える関係。

⑥ 静栄DAT 運営方針

災害時に、栄養支援活動の出来る職能団体としての資質を保持し続けるため、日本栄養士会が組織するJDA-DAT及び県災害対策室との連携強化を図る。また、県市町の地域防災計画が具体的に進む中で、積極的に参加を表明し栄養士会としてどのような対応ができるのかを示していく。

- ①感染症の災害対策マニュアルとアクションカードに対する理解を深め初動体制を強化
- ②静岡県との災害協定締結による、自治体との連携強化と活動内容の明確化
- ③栄養士会事務局内に備蓄した特殊栄養食品の管理及び嚙下障害者の対応を強化
- ④JDA-DATスタッフ及びリーダーの育成及びスキルアップ

⑦ 学術部(県民フォーラム)

広く県民に、健康管理と食生活の知識の普及を図るため、外部講師を招き公開講座を開催する。健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指して、県民に向けて広く健康・栄養に関する情報を、講演会を通じて実施する。

⑧ 総務部企画調整委員会(顕彰委員会・記念事業、保存管理)

長年にわたり栄養改善事業に尽力され、功績を有する会員に対して栄誉を称え表彰することを目的に、静岡県栄養士会表彰規程を制定、運営している。現行の静岡県栄養士会表彰規程が現状にそぐわない、また齟齬などを生じているため、改定および整備を行った。それに伴い、表彰候補者の選出、推薦方法および推薦委員会の役割について会員に対してホームページなどを通じて周知を行う。また、法人設立記念事業に向けた予算積立や事業推進委員会の設置など、計画的に準備を行う。それに伴い、静岡県栄養士会における事業実績の記録、保存を行い、記念誌や式典に備える。

(2) 関連団体会議への委員等就任

① 静岡県健康増進推進協議会(仮称)

主催者	静岡県健康福祉部
内容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指し、いきいきとした健康社会の実現を図るため、静岡県の健康増進計画の策定と推進、評価、見直しなどについて協議する。

② 静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を阻害する要因である糖尿病等の生活習慣病の該当者、予備群の減少を目指し、地域保健・職域保健関係機関との総合調整を図り、特定健診・特定保健指導のより効果的・効率的な実施について協議する。

③ 静岡県がん診療連携協議会支持療法部会

主催者	静岡県立静岡がんセンター
内容	国は、拠点病院等における医療従事者間の連携を更に強化にするため、がんサポートボードへの多職種参加を促しており、専門チーム(緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等)により、一人ひとりの患者に必要な治療やケアに関し連携強化を図るよう環境整備を推進している。 静岡県のがん診療拠点病院における協議会の「相談支援」「緩和ケア」「支持療法」の3つの部会の中の「支持療法部会」に委員として参加協力している。

④ 静岡県男女共同参画推進会議

主催者	静岡県くらし・環境部男女共同参画課
内容	家庭や地域、学校、職場等、社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取組をより強化するために、民間団体の主体的な取組を推進するためのネットワーク組織である。会議には、男女共同参画の趣旨に賛同する80の民間団体が加入し、研修会などの自主的な取組を行っている。

⑤ 静岡市食育推進会議

主催者	静岡市健康づくり推進課
内容	食育基本法に基づき、静岡市食育推進計画の推進及び進行管理のため、市民や食育の推進に関係する団体が参加して協議する。

⑥ 静岡県8020推進住民会議

主催者	静岡県8020推進住民会議(事務局:静岡県歯科医師会)
内容	静岡県条例に基づき、8020推進運動をとおして、県民の健康な生活を確保し、健康寿命の延伸と生活の質の向上に寄与するため、8020推進員の育成及び様々な8020運動の普及啓発活動を実施する。

⑦ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

主催者	静岡県健康福祉部福祉長寿政策課
内容	県民が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるよう地域包括ケアシステムの構築を実現するため、医療・介護をはじめとする専門職の連携を強化している。 市町における地域包括ケア推進体制の整備に繋げるため、地域包括ケア推進に関わりのある団体が意見交換する。

⑧ しずおか健康いきいきフォーラム21

主催者	公益財団法人 しずおか健康長寿財団
内容	県民が心身共に健やかに暮らすことができる“ふじのくに”づくりに向け、県民総参加の「健康づくり県民運動」の推進を図り、県民の健康増進に寄与するため、県民への健康づくりに関する普及啓発活動や各種団体の交流、研修事業等を行う。

⑨ 静岡県循環器病対策推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部疾病対策課
内容	「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」(平成30年12月14日法律第105号)第11条に規定する静岡県の循環器病対策の推進に関する計画である「静岡県循環器病対策基本計画」の策定、推進等に当たり、必要な事項を検討する。

⑩ 静岡県医療ケア児等支援ネットワーク会議

主催者	静岡県医療ケア児等支援センター(静岡県看護協会)
内容	医療的ケア児者の支援に関する保健、医療、福祉、保育、教育等の関係者間の連絡調整および情報交換を目的に設置され、関係機関、各団体等の代表者によって構成される。「地域の現状把握や分析」、「連携調整、支援内容の共有」、「地域全体の医療的ケア児等とその家族が直面する課題およびその対応策の検討」について協議を行う。

⑪ 静岡県アレルギー疾患医療連絡協議会

主催者	静岡県健康福祉部疾病対策課
内容	平成29年7月28日付け厚生労働省健康局長通知「都道府県におけるアレルギー疾患の医療提供体制の整備について」に基づき、静岡県アレルギー疾患医療拠点病院で実施する調査、分析を参考に地域におけるアレルギー疾患の実情を継続的に把握し、県拠点病院を中心とした診療連携体制、情報提供、人材育成等の施策の企画、立案や実施等、地域の実情に応じたアレルギー疾患対策の推進を図る。

⑫ 糖尿病歯周病医療連携委員会

主催者	静岡県歯科医師会
内容	静岡県からの委託を受け設置している「静岡県在宅歯科医療推進室」の運営委員会。歯科連携、多職種連携の推進を図る。

⑬ 静岡県在宅歯科医療推進室運営委員会

主催者	静岡県歯科医師会
内容	近年明らかになっている歯科疾患と全身疾患の関連性を踏まえ、医療従事者を始め、広く県民に対しても医科・歯科連携による疾病予防や早期治療の有効性の周知方法の検討を行う。

⑭ 静岡県保険者協議会

主催者	静岡県保険者協議会
内容	保険者協議会については、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)に基づき、保険者及び後期高齢者医療広域連合が都道府県ごとに組織し、特定健康診査等の実施や高齢者医療制度の運営等の関係者間の連絡調整、医療費の調査分析等を行うとともに、都道府県医療費適正化計画について協議を受け、同計画の実施についての都道府県への協力等を行うこととされている。全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律(令和5年法律第31号)により、保険者協議会が必置化され、医療職の5団体が会議に加わるようになった。

⑮ 静岡県母性衛生学会

主催者	静岡県母性衛生学会
内容	周産期医療に携わる医師および助産師・看護師・栄養士・保健師・教員等で構成され、職種の垣根を越えて周産期医療の研鑽を積むことを目的としている。

⑯ 健康はままつ21

主催者	浜松市健康福祉部健康増進課
内容	浜松市民の健康づくりを支える取り組みをその立場で実践している企業・団体に構成されている。

⑰ 地域包括ケア推進ネットワーク会議認知症施策推進部会

主催者	静岡県健康福祉部福祉長寿政策課
内容	認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会を実現するためには、医療・介護をはじめとする専門職の連携を強化し、市町における体制整備に繋げる必要があることから、「地域包括ケア推進ネットワーク会議」に、認知症施策推進部会を設置し、県全体の認知症施策の推進とその効果的な実施について検討する。

公益社団法人静岡県栄養士会2025年度予算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計	摘 要
	公1	公2	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部								経常収益計 27,465,000円
1. 経常増減の部								◆公益目的事業 21,959,300円
(1) 経常収益								I 公1 経常収益計 11,765,000円
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	1 事業収益 11,765,000円
中科目別記載				0			0	1) 管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成事業業務(静岡県委託) 3,250,000円
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	2) 食べるから繋がる地域包括推進事業(静岡県委託) 1,000,000円
特定資産受取利息				0	0		0	3) 元気を見つめる外食推進活用事業(生活衛生指導センター委託) 1,340,000円
受取入会金	0	0	57,500	57,500	57,500	0	115,000	4) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業(富士宮市フードバレー推進協議会委託) 400,000円
受取入会金			57,500	57,500	57,500		115,000	5) 栄養ケア・ステーション推進事業 5,050,000円
受取会費			9,568,800	9,568,800	5,259,200		14,828,000	6) 健康づくり提唱のつどい(ヤクルト委託) 400,000円
正会員受取会費	0	0	7,888,800	7,888,800	5,259,200	0	13,148,000	7) 広告掲載収入(バナー広告) 325,000円
賛助会員受取会費	0	0	1,680,000	1,680,000	0	0	1,680,000	2 雑収益 0円
事業収益	11,765,000	0	0	11,765,000	0	0	11,765,000	II 公2 経常収益計 568,000円
栄養改善、健康づくり等事業収入	6,390,000			6,390,000			6,390,000	1 受取負担金 413,000円
疾病予防、食生活改善及び食育等事業	5,050,000			5,050,000			5,050,000	受講料@1,000円×60人=60,000円(寺子屋、災害時栄養支援研修会)
広告掲載料収入	325,000			325,000			325,000	@4,400×12人=53,000円(TNTG-D研修会)
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	受講料@3,000円×100人=300,000円(学び直し講座)
受取補助金	0	0	0	0			0	2 雑収益 155,000円
受取負担金	0	413,000	0	413,000	0	0	413,000	展示コマ代 @5,000円×24社=120,000円
受取負担金	0	413,000		413,000	0		413,000	(総会15社、栄養士大会6社、研修会6社、地区4社)
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	III 共通 9,626,300円
受取寄付金				0			0	1 受取入会金 57,500円(新入会員)
雑収益	0	155,000	0	155,000	189,000	0	344,000	2 受取会費 9,568,800円(正会員費7,888,800円、賛助会費1,680,000円)
受取利息				0	4,000	0	4,000	◆法人会計経常収益計 5,505,700円
雑収益	0	155,000		155,000	185,000		340,000	1 受取入会金 57,500円(新入会員)
経常収益計	11,765,000	568,000	9,626,300	21,959,300	5,505,700	0	27,465,000	2 受取会費 5,259,200円(正会員費)
								3 雑収益 189,000円
								日栄事務手数料、賛助会員封入手数料、受取利息 189,000円

(2)経常費用							
事業費	19,991,020	3,640,058	0	23,631,078		0	23,631,078
材料費	0	0		0			0
給料手当	4,506,817	977,382		5,484,199			5,484,199
福利厚生費	635,033	137,718		772,751			772,751
会議費	27,500	42,000		69,500			69,500
旅費交通費	1,910,728	1,479,043		3,389,771			3,389,771
通信運搬費	1,106,295	76,864		1,183,159			1,183,159
減価償却費	0	0		0			0
研究研修費	0	0		0			0
消耗品費	926,975	136,800		1,063,775			1,063,775
修繕費	96,750	18,450		115,200			115,200
印刷製本費	73,500	0		73,500			73,500
広報費	0	0		0			0
光熱水料費	121,905	23,247		145,152			145,152
賃借料	445,875	198,705		644,580			644,580
地代家賃	1,000,395	190,773		1,191,168			1,191,168
諸謝金	8,353,957	211,230		8,565,187			8,565,187
租税公課	400,545	76,383		476,928			476,928
保険料	77,400	14,760		92,160			92,160
渉外費	6,450	1,230		7,680			7,680
支払負担金	10,000	0		10,000			10,000
委託費	277,995	53,013		331,008			331,008
有価証券運用損	0	0		0			0
雑費	12,900	2,460		15,360			15,360

経常費用計 28,250,000円
 ◆公益目的事業 23,631,078円
 I 公1経常費用計 19,991,020円
 1) 健康栄養知識普及事業 897,320円
 2) 健康づくり啓発協力事業 213,518円
 3) 在宅介護者への食生活支援事業 209,960円
 4) 食べるから繋がる地域包括推進事業(静岡県委託) 1,138,518円
 5) 管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成事業業務(静岡県委託) 3,519,628円
 6) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業(富士宮市フードバレー協議会委託) 636,490円
 7) 元気を見つめる外食活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 1,705,338円
 8) 栄養ケア・ステーション事業 9,996,130円
 9) 県民フォーラム 569,628円
 10) 健康づくり提唱のつどい(ヤクルト委託) 715,320円
 11) 広報事業 389,170円
 12)
 II 公2経常費用計 3,640,058円
 1) 定時総会講演会他各種研修会 1,816,040円
 2) 地区別健康づくり推進研修会 1,032,868円
 3) 災害時栄養支援研修会 791,150円
 ◆公益法人会計経常費用 4,618,922円

管理費				4,618,922	0	4,618,922	
役員報酬				0		0	
給料手当				2,272,801		2,272,801	
退職給付費用				0		0	
福利厚生費				320,249		320,249	
会議費				205,000		205,000	
旅費交通費				185,832		185,832	
通信運搬費				131,776		131,776	
減価償却費				0		0	
消耗品費				46,400		46,400	
修繕費				34,800		34,800	
印刷製本費				0		0	
広報費				0		0	
光熱水料費				43,848		43,848	
賃借料				110,200		110,200	
地代家賃				359,832		359,832	
諸謝金				2,320		2,320	
租税公課				144,072		144,072	
保険料				27,840		27,840	
渉外費				2,320		2,320	
委託費				726,992		726,992	
有価証券運用損				0		0	
雑費				4,640		4,640	
経常費用計	19,991,020	3,640,058	0	23,631,078	4,618,922	0	28,250,000

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,226,020	△ 3,072,058	9,626,300	△ 1,671,778	886,778	0	△ 785,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0			0
特定資産評価損益等	0	0	0	0			0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,226,020	△ 3,072,058	9,626,300	△ 1,671,778	886,778	0	△ 785,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
中科目別記載				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
中科目別記載				0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0			0
当期一般正味財産増減額	△ 8,226,020	△ 3,072,058	9,626,300	△ 1,671,778	886,778	0	△ 785,000

事業 年度	自	令和7年4月1日	法人コード	A005293
	至	令和8年3月31日	法人名	公益社団法人静岡県栄養士会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	用途
			円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
			円	

報告事項②

公益社団法人静岡県栄養士会表彰規程改正の件(報告)

主な改正点

1 表彰規程第2条

①栄養士養成功労者を削除。

(改正前)

第2条(2) 栄養士養成功労者

現に栄養士養成施設の教職員で、あって、栄養士・管理栄養士・栄養士養成に顕著な功績があったと認められる者で、次の各号のいずれにも該当する者。

ア 通算15年以上の会員で年齢40歳以上であること。

イ 理事従事年数が通算6年以上であること。

(改正後)

削除

②栄養指導業務功労者の年齢を50歳以上から40歳以上に変更。

(改正前)

(3) 栄養指導業務功労者

常に第一線にあって実際の栄養指導業務を担当し、栄養士としての活動に顕著な功績があったと認められる通算20年以上の会員で、年齢50歳以上の者。

(改正後)

(2) 栄養指導業務功労者

常に第一線にあって実際の栄養指導業務を担当し、管理栄養士・栄養士としての活動に顕著な功績があったと認められる通算20年以上の会員で、年齢40歳以上の者。

2 表彰規程第6条

推薦書の作成について、第2条(1) 栄養改善事業功労者イ、ウおよび第3条感謝状贈呈の推薦に該当する場合に変更する。

(改正前)

第2条又は第3条に該当する者がある場合は、理事又は職域協議会長が所定の様式により、推薦調書を作成し、会長に推薦する。

(改正後)

第2条又は第3条に該当する者がある場合は、理事より会長に推薦する。ただし第2条(1)イ・ウに該当する者は理事又は職域事業部長が所定の様式により、推薦調書を作成し、会長に推薦する。

この規程の変更は2025年3月2日から施行する。